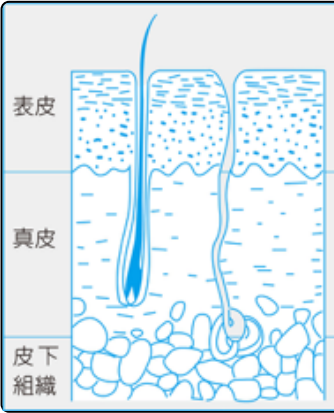
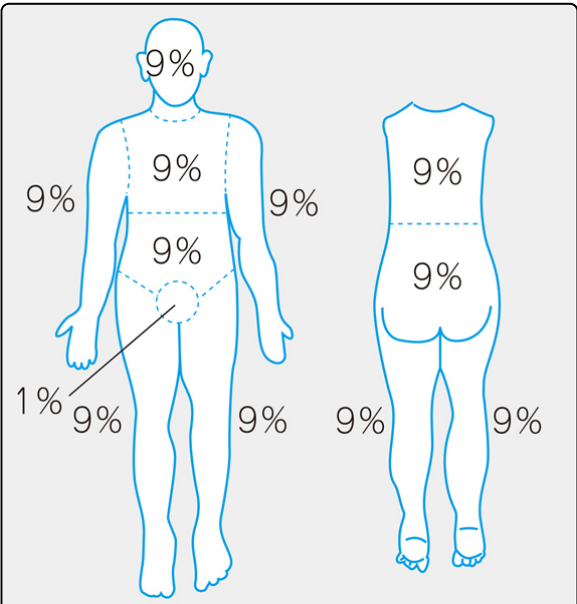


Burn

Burn 9

熱傷深度の判定

	深 度	障害組織	臨床所見	治 癒
	第1度	表皮	発赤し、軽度の腫脹と疼痛、	2～3日で治癒
		E.B.	水疱形成（－）	瘢痕とはならない
真皮	第2度	真皮浅層 S.D.B.	強い疼痛、腫脹 水疱形成（薄いほど水疱大）	1～2週 瘢痕再生する
		真皮深層 D.D.B.	水疱形成しないこともある 知覚は鈍麻	3～4週 感染すると3度に移行
皮下組織	第3度	皮下組織 D.B.	疼痛（－）、白く乾燥・炭化 水疱形成はない	1ヵ月以上 小は瘢痕治癒、植皮要



Burn Index

$$I^{\circ} \times 0 + II^{\circ} \times 1/2 + III^{\circ} \times 1$$

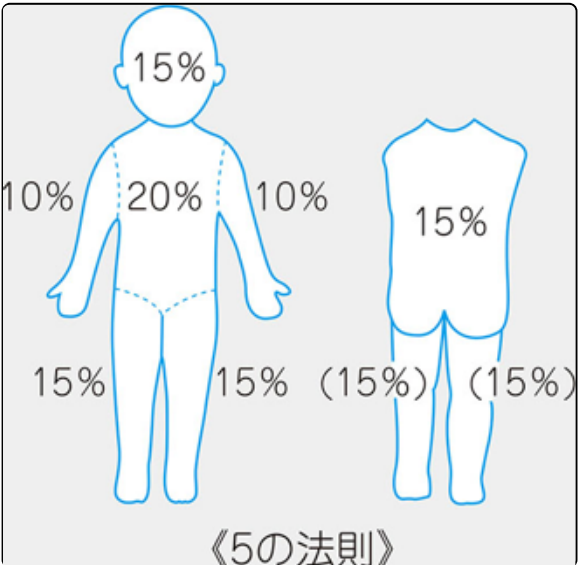
I°: 加算しない

II°: 1/2

Batxter

輸液量

I°: 加算しない



Treatment

- 。 乳酸加リンゲル

Quiz

88A91 輸液療法

M

広範囲熱傷患者の初期の輸液療法について誤っているのはどれか。

- a. コロイド液として血漿を用いる。
- b. 乳酸加リンゲル液を用いる。
- c. 1mL/kg/時の尿量を確保するよう輸液速度を調節する。
- d. 輸液必要量は熱傷面積と体重とを基準に決める。
- e. 保存血輸血を併用する。

False: e

- a.
- b.
- c.
- d.
- e. 血漿を
大量に使う, 全血を使うと多血症になる